

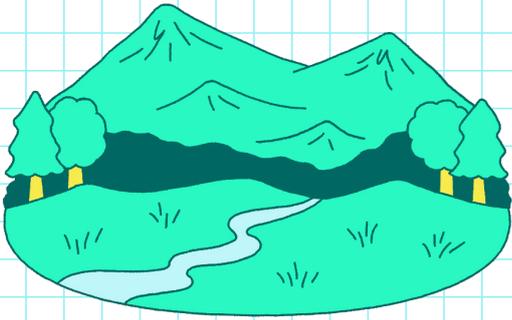
WOOD でつなぐ MOUNTAIN と TOWN CITY



デザインセッション多摩2020 「木でつなぐ山とまち」

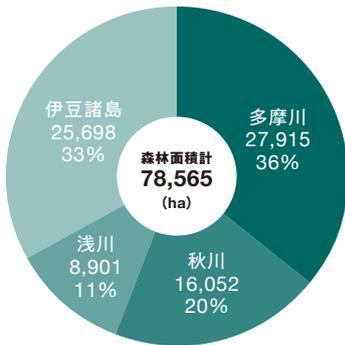
多摩エリア30市町村の西側に広がる山。そこには、戦後に植林されたスギ、ヒノキなどの針葉樹をはじめ、活用できる資源がたくさんあります。しかし、林業の担い手が少なく管理できていない山も多く、多摩に住む約420万人が地域の森林資源を十分に活用できていないのが現状です。

この資料では、そんな多摩エリアの森林の規模、林業家、製材所、材木店、工務店、木工家など木に関わるプロと、行政、NPO、市民などの森林資源活用的一端をまとめました。「木でつなぐ山とまち」の取り組みの手がかりになれば幸いです。

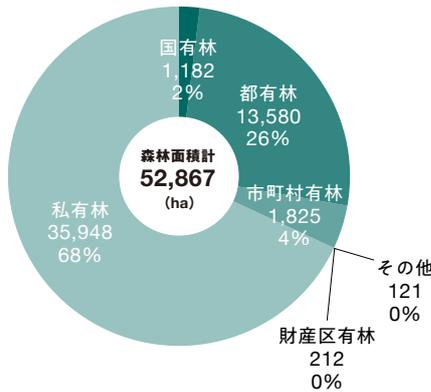


東京都は、伊豆諸島などの島嶼^{とうしよ}地域も含めた総面積の約4割が森林で、その森林のうち7割近くが多摩エリアの西部にあります。森林は主に多摩川と支流の秋川、浅川流域に偏在し、多摩エリアは総面積の約半分が森林という自然豊かな環境が保たれてきました。多摩エリアの森林は全国的に見て人工林率が高く、6割が人工林です。そのほとんどは戦後の復興期から高度経済成長期に植えられたものであり、多摩エリアの森林は今まさに収穫期を迎えています。

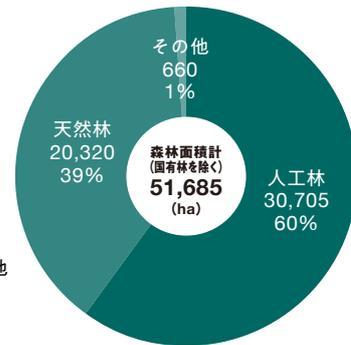
東京都流域別森林面積



多摩地域所有形態別森林面積

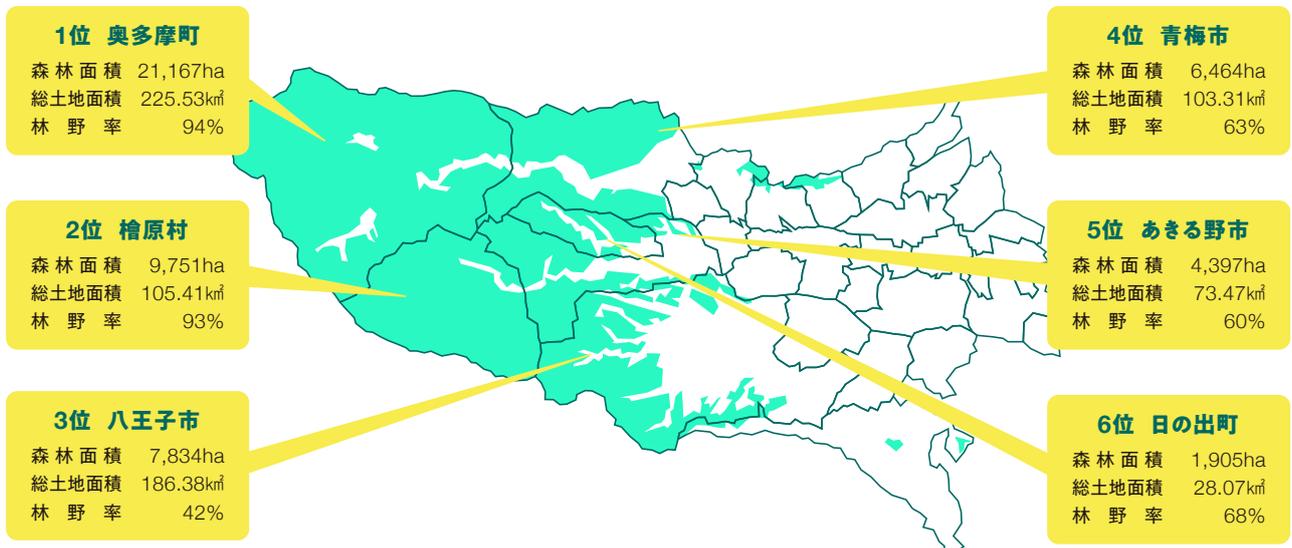


多摩地域人工林比率

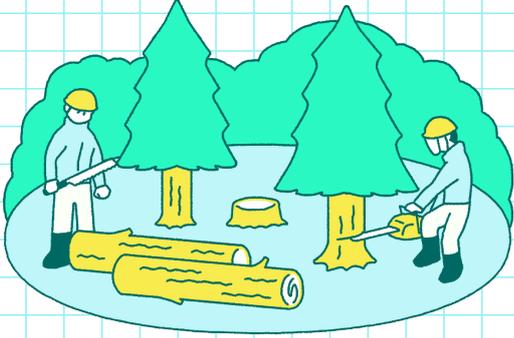


■東京都産業労働局「東京の森林・林業 令和元年版」

東京都森林面積ランキング

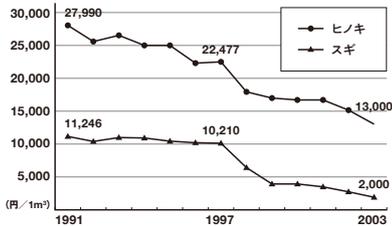


■東京都産業労働局「東京の森林・林業 令和元年版」

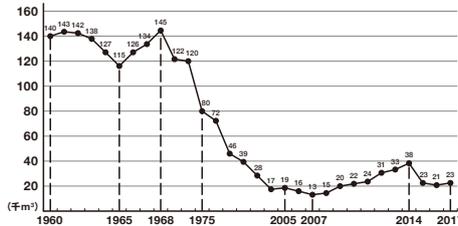


日本では古来より、建材や燃料として木が使われてきた歴史があります。江戸時代に入ると都市の人口増加にともない需要が急増し、森林保全や造林など、森林整備の取り組みが推進されるようになりました。山に苗木を植えて収穫するまでには50~60年の年月がかかります。「植える」→「育てる」→「収穫する」→「植える」…という数十年のサイクルを続けてきたのが林業です。また、地球温暖化が世界中の課題となっている現在、二酸化炭素を吸収する森林の循環を維持することは、地球環境を改善するためにも重要とされています。

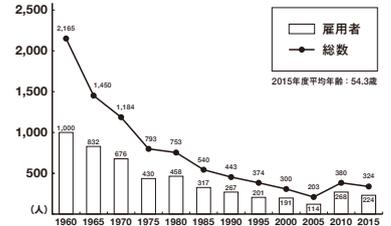
山元立木価格の推移(東京都)



製材用素材生産量の推移(東京都)



林業就業者数の推移(東京都)



■東京都産業労働局「東京の森林・林業 令和元年版」

多摩エリアの林業経営体の数

207

(2015)

■農林水産省「2015年農林業センサス(平成27年)」

日本不動産研究所の調査によると、東京における山元立木価格(※)(1㎡あたり)は1990年代から2000年代にかけての10年ほどで、スギは8割、ヒノキは5割以上も下落した。2000年以降も全国平均山元立木価格は下降を続けており、東京の山元立木価格も現時点ではさらに下落していることが予想される。また現場では林業従事者の減少や高齢化が進み、労働力の確保や育成が課題となっている。

※山元立木価格: 林地に立っている樹木の価格で、樹木から生産される丸太の材積(利用材積)1m³当たりの価格で示される。

林業家の取り組み



東京チェーンソー
[檜原村]

2006年創業。森林管理や整備とともに木を1本まるごと生かした商品企画を行い、製品だけでなく森林づくりや出張型ワークショップなど体験も含めた森林の価値を提供している。

写真: 素材の形をそのまま使った木のおもちゃ

→ WEBサイト



中島林業
[青梅市]

江戸時代から継承されてきた所有山林を永続的に育て、必要な木を伐採し市場に出す「自伐林業」を営む。森林・林業体験の実施など、林業を通じて地域の活性化を目指す。

→ WEBサイト(MOCTIONインタビュー)



森のお仕事
[日の出町]

メイン事業である山林整備のほか、手摘みで収穫した茶葉の販売や、林業や自然体験イベント、林業講習などを実施し、人と森を近づけ、集える場所をつくる取り組みを行っている。

→ WEBサイト



多摩エリアで生育した木材である「多摩産材」をはじめ地域材の活用の促進は、森林の健全な循環や地域の産業の活性化につながり、地球環境の改善にも大きな役割を果たします。日本には「森林の有する多面的機能の発揮」と「林業の持続的かつ健全な発展」という基本理念に基づき2001年に施行された森林・林業基本法などの制度があり、森林の適切な育成や持続可能な活用・保護が図られています。また、多摩エリアには多摩産の木材普及や林業・木材産業などの振興を促進する団体もあり、業種を越えた連携による取り組みが地域の発展を促しています。

多摩産材

多摩産材認証制度 (東京の木多摩産材認証協議会)

多摩エリアで生育し、適正に管理された森林から生産された木材の産地を証明する制度。これにより認証された木材が「多摩産材」と呼ばれる認証材となる。



→ [WEBサイト](#)

原木市場と情報窓口

多摩木材センター[日の出町]

東京で唯一の原木市場。毎月2回開催される市で認証材も取引されている。

多摩産材情報センター[青梅市]

多摩エリアの林業・木材産業の活性化を目的に、多摩産材の製品や調達方法について情報提供し、利用者とのマッチングを行っている。

→ [WEBサイト](#)



組合

東京都森林組合 [日の出町]

東京都全域を管轄する東京唯一の森林組合。東京の林業振興と持続可能な森林づくりを目指し、植林・森林の保育管理・伐採・製材・加工・販売を一貫して行う。また森林ボランティア活動や森林イベントなどもサポート。

→ [WEBサイト](#)



制度

適切な森林の循環や林業の発展を維持するために施行された、法律や様々な制度。暮らしの中でも見かける認証マークや、2024年から住民税に併せて課税される「森林環境税」など、生活者に身近な知っておくべきものもある。

- ・森林・林業基本法
- ・森林環境税／森林環境譲与税
- ・森林経営計画制度
- ・FM認証／CoC認証(FSC/SGEC/PEFC)
- ・とうきょう森づくり貢献認証制度(東京都)
- ・優遇融資制度『とうきょうの森のいえ』
(東京の木・いえづくり協議会)

秋川木材協同組合 [あきる野市]

秋川流域の林業・製材業者12社が加盟する都内唯一の多摩産材を取り扱う木材協同組合。特殊伐採や「素木家」を通じた木材販売のほか、多摩産材体験ツアーや出前授業などを通して、多摩産材の普及活動を行う。

→ [WEBサイト](#)



東京都の取り組み

花粉症対策事業

総合的な花粉症対策を推進するため東京都花粉症対策本部を設置し、東京の人工林を主伐し花粉の少ないスギなどへの樹種更新を進めている。

MOCTION

2020年12月に開設。全国各地と東京都が連携し、国産木材活用やオフィス木質化を提案。

→ [WEBサイト](#)

檜原村木材産業協同組合 [檜原村]

林業・製材業・加工業・販売業・バイオマス関連業・森林サービス業など檜原村の森林資源利用に関する多分野の企業が連携。檜原村の人と森林資源を活かし都市に木のぬくもりを届けることを目指し2018年に設立。

→ [WEBサイト](#)

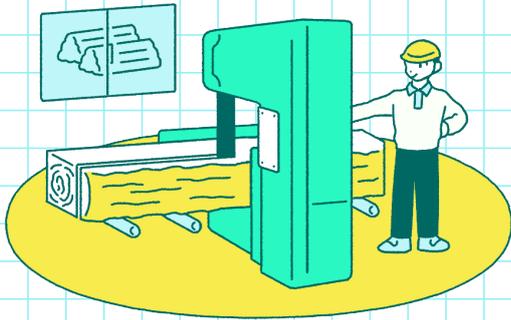


多摩エリアの事業者たちの取り組み

TOKYO WOOD普及協会

東京の家と森を育てるをコンセプトに、小嶋工務店(小金井市)を中心に沖倉製材所(あきる野市)、中嶋材木店(あきる野市)と共に2012年に設立。年間100棟の建築を目指す。東京チェーンズ(檜原村)と田中林業(檜原村)も加わり、2020年にはGOOD DESIGN賞(ビジネスモデル)、WOOD DESIGN賞をW受賞。

→ [WEBサイト](#)

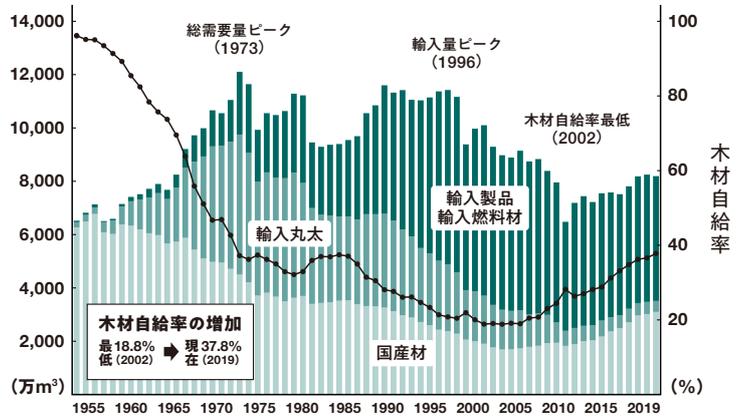


山で伐採された原木を鋸挽きし木材製品にする製材。山から下され製材された木材は、土木や建築材料、家具など、また紙や板紙の原材料としてなど、生活のあちこちに用いられています。また東京都は、2011年に改正した「東京都公共建築物等における多摩産材利用推進方針」に基づき、公共建築物や土木工事において多摩産材の率先利用を進めるなど、今後も多摩産材の需要は伸びていくと考えられます。地域の木の特性を把握し用途に合わせて材を供給する製材所は、まちのユーザーと山をつなぐハブとしての役割を担っています。

木材供給量及び木材自給率の推移

日本の木材自給率は2002年に18.8%となって以降徐々に回復傾向にあり、2019年には37.8%に上昇した。この背景には、戦後に植林された森林資源の充実や国産材需要の増加、木質バイオマス発電での利用増加などがある。国産材は供給量の半分近くを製材用材のスギやヒノキが占めているが、パルプやチップなどの製品用材は供給量の80%以上を輸入材に頼っている。

■林野庁「令和元年(2019年)木材需給表」



多摩エリアの製材所(多摩産材認証協議会登録)

多摩産材認証材を取り扱う製材所は、多摩エリアに19か所。

奥多摩町

・東京・森と市庭

檜原村

・小泉製材所
・田中林業
・野村材木店

日の出町

・金子木材
・三協木材
・下野材木店
・東京都森林組合

・浜中材木店
・原製材
・樋口木材

あきる野市

・沖倉製材所
・佐藤材木店
・澤入木材

・田畑材木店
・中嶋材木店
・三橋製材所

町田市

・尾作木材

八王子市

・瀬沼木材

製材所の取り組み

地域内外の多業種との連携や地域材のブランディングなどを行う3つの製材所。材を卸すだけでなく、多摩産材普及のため様々な取り組みを推進している。

浜中材木店

【日の出町】

先代から続く伐採や下刈り、枝打ち、間伐など山の仕事、製材業、そして無垢材を使った木組みの家づくりまで行う。また木材を無駄なく有効活用するため、東京産木材の端材やおが粉を利用した木質ペレットを販売している。

→ WEBサイト

沖倉製材所

【あきる野市】

東京唯一の多摩産材認証役員監事工場。地域の材と人を活かし、多方面と連携しながらものづくりをする製材所。多摩産材認証制度を立ち上げ、多摩産材プレミアムブランド『東京十二木』による「素材から始める東京の木の家づくり」をスタート。

→ WEBサイト

中嶋材木店

【あきる野市】

多摩産のスギやヒノキなどを利用し気候風土にあった構造材や内装材の利用発展を目指す。TOKYO WOOD普及協会に立ち上げから参画し、“メイドイントーキョー”の家づくりを推進。また地域の家具職人と協力し子どもたちのための家具も製作。

→ WEBサイト



1990年代に新建材の有害性が顕在化して以降、無垢の木を使用した自然素材の家づくりが需要を高めています。戦後に植林された多摩エリアの森林は、その大部分が建築材料に適したスギやヒノキであり、そうした森林資源の活用は適切なサイクルでの森林の伐採や地域の環境保全にもつながります。また東京の木を東京で使うことにより、木材の輸送コストや輸送時のエネルギー量(CO2排出量)を抑えることができます。多摩エリアには、国産材の中でも多摩の森林で育った多摩産材の使用にこだわり、地域の人材を活用した家づくりをする工務店や設計事務所などがあり、東京の木でできた住宅が年々増えています。

工務店

多摩エリアで地域材の活用を推進する工務店。地域の林業家や製材所などと信頼関係を築きながら家づくりをしている。



相羽建設
【東村山市】

地域材と地元の職人技による永く住み続けられる住まいづくり、地域コミュニティのある住環境づくりを目指す。暮らしにあわせ間取りをアレンジできる木造ドミノ住宅では、多摩産材を構造材として使用。

→ [WEBサイト](#)



岡庭建設
【西東京市】

構造材に主に多摩産材を使用するほか、地球環境や健康に配慮した自然素材を建材として使用。東京都の「多摩産材を使った家づくり」コンクールにて2016・2018年度に優秀賞受賞。

→ [WEBサイト](#)



健幸工房シムラ
【青梅市】

「わが家に遊びに帰ろう」をコンセプトに、自然の力を借りながら、住む人の健康を守り、家族のつながりを大切にしたい家づくりを行う。構造材に多摩産材を推奨。木のおもちゃ広場など、地域に寄り添う活動を行う。

→ [WEBサイト](#)



小嶋工務店
【小金井市】

地域密着の家づくりを行う、多摩産材使用率No.1(9年連続)の工務店。独自基準の検査を行う多摩産材のブランド『TOKYO WOOD』の立ち上げや東京の森林の情報発信、体験ツアーなども行う。

→ [WEBサイト](#)

設計事務所

地域材を取り入れ、環境に配慮した設計・家づくりを心がける多摩エリアの設計事務所。



スタジオ紡 建築設計事務所
【多摩市】

地域材や自然素材を取り入れた住宅などの設計を行う。多摩産材100%使用の住宅を手がけ、2019年、東京都「多摩産材を使った家づくり」コンクール優秀賞受賞。「東京の木で家をつくる会」の窓口。

→ [WEBサイト](#)



マイホームパートナー
【日野市】

2003年より構造体に多摩産材を採用するほか、自然素材や地中熱(全館空調システム)などによる、健康寿命をのばす家づくりをコンセプトにした設計事務所。「東京十二木」の作品展なども開催。

→ [WEBサイト](#)



ピオフォルム環境デザイン室
【国分寺市】

その土地の風土に根ざした素材と技術を使う、地産地消の木の家づくりの設計を行う。建築と環境設計までを含め、パーマカルチャーのデザイン手法や哲学を背景とした住環境づくりを目指す。

写真：砺波周平

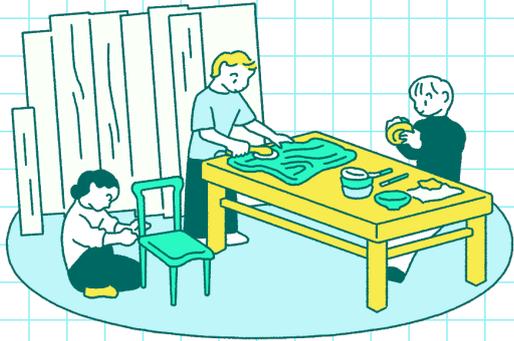
→ [WEBサイト](#)



WAKUWORKS
【国立市】

身近な自然環境をヒントに、未来の子もたちの喜びと安心につながる設計、場づくりを目指す。環境の調査研究やまちづくりのプランニング、ワークショップの企画運営なども手がける。

→ [WEBサイト](#)



豊富な自然や広い作業環境を求めて工房を構えるつくり手が多い多摩エリア。地域材を使うことを目的に立ち上げられたプロジェクトやブランドなどもあります。産地を知り木を使うことは、その地域の森林やそこに関わる仕事を豊かにし、できあがった作品にはストーリーが刻まれます。多摩エリアの森林の木は製品となり、地域で暮らす人の手に渡り、あちこちで使われています。また、これまでは山林に放置されることが多かった間伐材によるプロダクトも生み出され、ものづくりを通じた森林資源の活用と循環が注目されています。

地域材でつくる



多摩産材活用あきがわ木工連
【あきる野市】

多摩産材と地域の技術にこだわり、地域施設の什器や家具、木のおもちゃなどを製作。市内の木工、建具事業者などにより2009年結成。制作のほか、木育や多摩産材を語る場の企画なども行っている。

→ [WEBサイト](#)



Ome Forestry
【青梅市】

青梅の木のオーダーメイド家具を製作。森林資源を家具やDIY体験として提供し、森林育成に還元する仕組みづくりを目指す。山主である中島林業、市内のログハウスビルダー、木工職人、製材家による取り組み。

→ [WEBサイト](#)



Oxygen
【八王子市】

プロダクトデザイナー、アートディレクター、グラフィックデザイナーによる、多摩産材を使用したプロダクトブランド。多摩産材の家具展開による利用拡大を目指す。2020年度グッドデザイン賞受賞。

→ [WEBサイト](#)

国産材でつくる



モクタンカン
【調布市】

仮説足場の資材として普及している単管システムの金属パイプを国産材に。持ち運びや組み立てが容易で、テーブル脚や展示什器、屋台骨、ハンガーラックなど様々な使方で活用されている。

→ [WEBサイト](#)



ハチノワ
【八王子市】

里山保全活動により伐採した木を搬出し、製材、加工まで全て一括して行う木工ブランド。木工旋盤を用いたランプシェードや器などを製作し、moi bakery(多摩市)とisyokuju(上野原市)にて販売している。

→ [WEBサイト](#)



FRONTIER JAPAN 檜原村工場
【檜原村】

多摩産材ほか国産間伐材を使用したノベルティグッズの企画・製造を行う。2019年に檜原村工場を開設。全国の木材や木材製品の売り手と買い手を直接つなぐプラットフォーム「KIBA.com」の運営も手がける。

→ [WEBサイト](#)



家具屋 椿堂
【奥多摩】

2014年より奥多摩町に工房を構え、奥多摩界隈で採れた木や古材を使った家具製作を行う。工房に併設された予約制の「椿堂ギャラリー」では、椅子やテーブルなどの家具のほか、小さな道具なども展示している。

→ [WEBサイト](#)



棚+(タナプラス)
【東久留米市】

自宅の壁に取り付けることのできる、用途を限定しない棚。北海道の間伐材を利用したECOシラ合板を使用。強度があり簡単に持ち運びセットできる机や棚として、空間活用の可能性を広げている。

→ [WEBサイト](#)



情報や体験を通して森林や木にまつわる産業について
知ること、木のある暮らしの価値を意識すること、そして
身近な地域の木を使うこと。日常生活を送る誰もが持て
る、地域の木との接点です。東京の森林を守り適切に循
環させていくための選択肢を知る木育や、林業の一助と
なる森林ボランティア育成、つくり手として木に向き合
えるシェア工房、また、森林や木をテーマに集うコミュニ
ティ活動など、多摩エリアには「地域の木」への入り口が
たくさんあります。

育成・木育



八王子現代家具工芸学校
【八王子市】

プロフェッショナルの育成から趣味としての木工まで、本格的な家具づくりやデザインを学べる家具製作の学校。

→ [WEBサイト](#)

とうきょう林業サポート隊
【東京都】

下刈りや枝打ちなどの森林作業に携わる森林ボランティア活動。林業の専門家による安全講習や指導があり、人材の育成も目指している。

→ [WEBサイト](#)

青梅りんけん
【立川市】

青梅市の「森林ボランティア育成講座」のほか、林業体験や炭焼き体験、木工などの体験学習プログラムを提供している。

→ [WEBサイト](#)

東京・森と市庭
【奥多摩町】

「間伐」を体験する木育遠足や保育士向けの木育研修、木工ワークショップなどを行うほか、木造校舎や社有林の空間レンタルもしている。

→ [WEBサイト](#)

キトコト60
【あきる野市】

多摩産材活用あきがわ木工連による、築200年の古民家を拠点とした木育活動。木工体験や林業体験、木育セミナー、遠足誘致などを行っている。

→ [WEBサイト](#)

檜原森のおもちゃ美術館
【檜原村】

地域材を多く活用した木のおもちゃの体験型美術館。0歳から100歳までが楽しめる多世代交流・木育推進・エコツーリズムの拠点となる。2021年秋オープン予定。

→ [WEBサイト](#)

桐を暮らしにプロジェクト
【奥多摩町】

人々の暮らしと桐の歴史、地域の産業を知り、林業体験や工場見学、木工ワークショップなどの体験から学ぶ木育プロジェクト。

→ [WEBサイト](#)

シェア工房・レンタル工房



クラフト・ワークス・ベアー
【八王子市】

伝統工法の社寺建築を行う建設会社による木工レンタル工房。小型旋盤、フライス盤等でのアルミ、快削鋼の切削、溶接も可。ビギナーには安全講習あり。

→ [WEBサイト](#)



Tschool
【立川市】

デジタル設備や縫製機器、木工機材などが揃った会員制FAB施設。創業支援機能を兼ね備え、起業を目指す人へのサポートも行っている。

→ [WEBサイト](#)



クミタテ
【国立市】

木工・皮革・縫製設備ほか、デジタル機材も導入した会員制のシェア工房。近隣のものづくり施設や創業支援機関と連携。

→ [WEBサイト](#)



DIY STORE 三鷹
【三鷹市】

リフォーム会社が運営するDIYレンタルスペース&工作教室。屋外スペースでの大きなサイズの制作も可。ドロップインまたは会員制。

→ [WEBサイト](#)

コミュニティ

アトリエkiki 【青梅市】

家具職人が立ち上げた古民家を改装したコミュニティシェアスペース。木工などのワークショップやイベントを開催。

→ [WEBサイト](#)



日野まちのき 【日野市】

多摩地域の木材や樹木、まちの空きスペースを活用して、地域とつながるコミュニティをつくるプロジェクト。

→ [WEBサイト](#)



Nishitokyo CRAFT BASE 【西東京市】

工務店が運営するコミュニケーションスペース。木工ワークショップやDIY資材の販売、カフェ営業を行う。

→ [WEBサイト](#)



資料掲載リスト

林業 (P2)

東京チェーンソーズ【檜原村】
<https://tokyo-chainsaws.jp/>

中島林業【青梅市】
<https://mocation.jp/interview/no03/>
(MOCTIONインタビュー)

森のお仕事【日の出町】
<https://workinthewoods.jp/>

市場・普及 (P3)

多摩産材情報センター【青梅市】
<https://tamasanzai.tokyo/>

東京都森林組合【日の出町】
<http://tokyo-sinrin.com/>

秋川木材協同組合【あきる野市】
<https://akigawamokuzai.or.jp/>

檜原村木材産業協同組合【檜原村】
<https://www.hinomoku.tokyo/>

MOCTION【東京都】
<https://mocation.jp/>

TOKYO WOOD普及協会
<https://tokyowood.net/>

製材・材木 (P4)

浜中材木店【日の出町】
<http://www.hamanaka-zaimokuten.jp/>

沖倉製材所【あきる野市】
<https://www.okikura.co.jp/>

中嶋材木店【あきる野市】
<http://www.gws.ne.jp/kigokoro/>

建築 (P5)

相羽建設【東村山市】
<https://aibaeco.co.jp/>

岡庭建設【西東京市】
<https://www.okaniwa.jp/>

健幸工房シムラ【青梅市】
<https://sumitai-ie.jp/>

小嶋工務店【小金井市】
<https://www.k-kojima.co.jp/>

スタジオ紡 建築設計事務所【多摩市】
<https://www.s-tsumugi.net/>

マイホームパートナー【日野市】
<http://www.myhomep.co.jp/>

バイオフォルム環境デザイン室【国分寺市】
<https://bioform.jp/>

WAKUWORKS【国立市】
<http://www.wakuworks.jp/>

家具・木工 (P6)

多摩産材活用あきがわ木工連【あきる野市】
<https://mokkouden.com/>

Ome Forestry【青梅市】
<https://www.omeforest.tokyo/>

Oxygen【八王子市】
<http://www.oxygen-furniture.com/>

ハチノワ【八王子市】
<https://www.facebook.com/hachinowakka/>

FRONTIER JAPAN 檜原村工場【檜原村】
<http://www.frontierjapan.co.jp/>

家具屋 椿堂【奥多摩町】
<http://www.tsubakidou.com/>

モクタンカン【調布市】
<http://moktankan.com/>

棚+ (タナプラス)【東久留米市】
<https://sense-of-fun.com>

教育・活動 (P7)

八王子現代家具工芸学校【八王子市】
<https://www.gendaikagu.com/>

とうきょう林業サポート隊【東京都】
<https://ringyou-support.tokyo/>

青梅りんけん【立川市】
<http://oumerinken.org/>

東京・森と市庭【奥多摩町】
<https://mori2ichiba.tokyo.jp/>

キトコト60【あきる野市】
<https://mokkouden.com/kitokoto60/>

檜原森のおもちゃ美術館【檜原村】
<https://www.hinohara-toymuseum.com/>

桐を暮らしにプロジェクト【奥多摩町】
<https://www.kiripro2020.com/>

クラフト・ワークス・ベアー【八王子市】
<http://komine.tokyo/bear/>

Tschool【立川市】
<https://tschool.tokyo/>

クミタテ【国立市】
<https://kumitate.space/>

DIY STORE 三鷹【三鷹市】
<http://diystoremitaka.com/>

アトリエkiki【青梅市】
<https://www.facebook.com/atelier.Kiki.22/>

日野まちのき【日野市】
<https://machinoki.net/>

Nishitokyo CRAFT BASE【西東京市】
<https://www.craft-base.com/>